

入札案件概要書(工事)

件名	本郷ふれあい公園井戸改修工事	契約番号	16
工期	令和 6 年 7 月 23 日～令和 6 年 11 月 15 日		
施工場所	海老名市 本郷 地内		
予定価格	金34,100,000円(税込) 金31,000,000円(税抜)	契約金額500万円超となる場合、手持契約件数に加算されます。	
最低制限価格等	有り	※詳細は、高座清掃施設組合条件付一般競争入札等事務取扱要領及び入札告示を参照してください。 なお、本案件についてはスクラップ費を計上していることから、最低制限価格の算定については、算定基準に基づいて計算をした合計額からスクラップ費を除いた額を最低制限価格とします。	
参加条件	参加の地域要件	第4区分	地域要件は入札公告で確認してください。
	指定工種	240 さく井に登録のある者	
	経営事項審査総合評点	一点以上	
	配置技術者等	現場代理人及び主任技術者は過去5年以内に同種同規模の施工管理の経験を有すること。	
	手持契約件数制限	工事の手持件数が3件以内であること。 (入札参加申込締切日現在、高座清掃施設組合発注の入札案件に限る。)	
	その他の要件		
提出書類	<p>■条件付一般競争入札参加資格確認申込書送付時</p> <p>○配置予定技術者調書</p> <p>○主任技術者の3カ月以上の雇用を確認できる書類(原則として健康保険被保険者証)の写し</p> <p>■入札時</p> <p>○入札時に記載する金額に相当する工事費積算内訳書</p>		
工事の概要	<p>本郷ふれあい公園(第一工区)の既設井戸施設について、地下水採取に関する地盤沈下防止基準を満たす機能に改修することを目的として実施するもの。</p> <p>詳細は、工事設計書及び工事仕様書を参照。</p> <p>※入札書、委任状は別添の様式を使用してください。</p>		

条件付一般競争入札参加資格確認申込書

令和 年 月 日

高座清掃施設組合
組合長 内野 優 殿

認定番号

所在地

商号又は名称

代表者職氏名

担当者名

電話番号

e-mailアドレス

F A X 番号

使用印

入札に参加したいので、次のとおり申込します。
なお、この参加申込書及び添付書類の全ての記載事項は、事実と相違ありません。

契約番号 16

件名 本郷ふれあい公園井戸改修工事

(高座清掃施設組合 総務課 契約担当
e-mail : keiyaku@kouzaseisou-kanagawa.jp
F A X : 046-238-6010)

※通信欄（二日以内に返信します。）

- 申込書を受け付けました。「条件付一般競争入札参加資格確認通知書」は、審査後電子メール又はFAXで送付します。
- 書類が不足しています。入札公告等を確認して再申請してください。
- _____

組合の確認 (記入不要)		
地域	第4区分	
業種	240 さく井	
評点		
その他	現場代理人及び主任技術者の実績確認書類 配置予定技術者調書 雇用確認書類	

入札書

令和6年7月16日

高座清掃施設組合
組合長 内野 優 殿住 所
商号又は名称
代表者職氏名
代理人氏名印
印高座清掃施設組合契約規則を堅く守り、次の金額
で入札します。

件 名	本郷ふれあい公園井戸改修工事											
金 額(税抜)	千	百	十	億	千	百	十	万	千	百	十	円

- (注) 1. 金額は、消費税及び地方消費税額を除いた額を記入してください。
2. 金額は、1つの枠に1字ずつアラビア数字で記入してください。
なお、金額の訂正したものは無効とします。
3. 入札の際は、入札書を二つ折りにして入札箱に投函してください。
封筒は必要ありません。
4. 落札にあたって、契約金額は、落札金額に消費税及び地方消費税額
を加えた金額とします。なお、消費税率は、10%とします。



契約番号

16

委任状

令和6年7月16日

高座清掃施設組合

組合長 内野 優 殿

委任者 住 所

商号又は名称

代表者職氏名

印

件 名 本郷ふれあい公園井戸改修工事

今般私は、次の者を代理人と定め、上記の件に関する入札の一切の権限を委任します。

代理人氏名	被委任者印鑑



質 問 書

高座清掃施設組合契約担当 殿

設計図書に関して、質疑がある場合は質疑内容を記載し、電子メール又はFAXで送信してください。

○ 送信日時 : 入札公告を確認してください。

○ 送信先 : 高座清掃施設組合 総務課 契約担当

e-mail : keiyaku@kouzaseisou-kanagawa.jp

F A X : 046-238-6010

○ 回 答 : ホームページに順次掲載します。

認定番号		電話番号	
所在地		e-mailアドレス	
商号又は名称		F A X 番号	
代表者職氏名		担当者名	

契約番号	16
契約件名	本郷ふれあい公園井戸改修工事
質 疑 内 容	

本郷ふれあい公園井戸改修工事

工 事 特 記 仕 様 書

高座清掃施設組合

工 事 特 記 仕 様 書

- 工事件名 本郷ふれあい公園井戸改修工事
工事場所 海老名市 本郷 地内
工 期 令和6年 7月23日から令和6年11月15日まで

1. 工事の目的

本工事は、本郷ふれあい公園(第一工区)既設井戸施設について地下水採取許可基準を満たすよう地下水採取層の位置を深くするよう改修し、井戸水利用による地盤沈下を防止することを目的とする。

2. 工事における注意事項

1) 一般事項

①工事受注者は、海老名市が定める「現場代理人及び主任（監理）技術者の適正な配置等について」に基づき各技術者を配置し、工事内容を十分理解した上で施工計画を立て、施工に際しての必要な手続きを終えた後、組合監督員の承認を得てから現場着手すること。

②工事受注者は、工事提出書類チェックリストに基づき、適宜必要な書類を組合に提出すること。

③工事受注者は、工事履行報告書（様式指定）の書式に基づき、毎月末に監督員に工事の進捗を報告し、監督員の承認を得ること。

④本工事箇所は、本郷ふれあい公園(第一工区)の敷地内であるため、現場管理には特に細心の注意を払うこと。

⑤本工事に際しては、事前に関係者各所へ十分な周知を図るとともに、当組合以外の企業等が管理している敷地及び施設に立ち入る場合には、相手方に身分を明らかにし、了解を得てから立ち入ること。

⑥工事受注者は、請負金額500万円以上の工事について、コリンズ（工事实績情報システム）に基づき、組合監督員の確認を受けた上で、登録を行う。

なお、登録した後は発行される「登録内容確認書」の写しを、次のとおり組合監督員に提出すること。

ア 受注時は、契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内。

イ 変更時は、変更があった日から、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内。

ウ 完了時は、業務完了届提出後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内。

エ 訂正時は、適宜登録機関に登録申請を行う。

以上の期間については、組合閉庁日を除くものとする。

⑦工事受注者は、建設業法に基づき、下請契約をする場合は、下請契約金額にかかわらず「施工体制台帳」、「施工体系図」を作成し、監督員に写しを提出すると共に、工事関係者及び公衆が見やすい場所に、施工体系図と下請けを含めたすべての建設業許可票、労災保険関係成立票を掲げること。

⑧施工については、騒音規制法及び振動規制法を遵守するとともに、工事前に所定の手続きを行うこと。また、使用する建設機械は、低騒音、低振動、排ガス規制に適合したものを使用すること。

⑨写真による工事記録

工事受注者は、工事記録として下記の写真を撮影し、検査等で組合に報告する。なお、下記以外の基準については、写真管理基準（案）（国土交通省）による。

事 項	内 容
撮 影 すべき 事 柄	工事着工前、工事完成、 施工状況、安全管理、使用材料、品質管理、出来形管理、災害・事故 記録、その他（公害、環境、補償等）
写 し 込 む べ き も の	写真撮影では、以下の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が 判読できるよう被写体とともに写しこむものとする。 ①工事名、②工種等、③年月日、④測点（位置）、⑤設計寸法、⑥実 測寸法、⑦略図、⑧工事請負者、⑨立会者

⑩この「工事特記仕様書」に記載する以外については、神奈川県土木工事共通仕様書に基づき、適正な履行を図ること。

⑪本工事に必要な機械用動力源、仮設及び料金、諸官公庁に対する手続き及びその費用一切は、受注者の負担においてなすこと。

⑫契約不適合責任

- ・契約不適合責任期間は、工事請負契約約款に定める期間とする。
- ・工事受注者は、引渡しの日から1年以内（原則として引渡しの日から起算して11箇月経過し12箇月経過する以前の期間）に、組合が行う契約不適合責任点検に立ち会うこと。なお、元請工事と下請工事の工種が異なる場合は、元請工事の工種の定めにより判断し、下請工事は元請工事と同様とする。
- ・工事受注者は、契約不適合責任点検において、契約不適合責任があると認められたときは、速やかにその契約不適合責任補修を行い、契約不適合責任修補報告書（任意書式）を提出すること。

⑬ワンデーレスポンス

- ・「ワンデーレスポンス」とは、所定の工期内に工事を完成させることを目的に、工事発注者と工事受注者が意思疎通を図り、工事現場において発生する諸問題に対し迅速な対応を実現するため、工事発注者が、工事受注者からの協議や質問への回答を、基本的に「その日のうち」に行うものである。但し「その日」が閉庁日の場合、また「その日のうち」の回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを工事受注者と協議し、回答日を決める。
- ・工事受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じる恐れがある場合は、原因を明らかにするとともに、速やかに組合監督員へ書面にて報告する。

⑭井戸設置位置の状況

- ・井戸を新設する公園用地は、現在、神奈川県発注の主要地方道横浜伊勢原（先行整備区間）道路改良工事（その2）が施工ヤードとして使用している。
- ・施工にあたっては神奈川県工事受注者と十分に調整し、工事進捗を図るものとする。

3. 工事概要

(1) 井戸の概要（以下の事項を基本とする。）

- ・掘削工法： パーカッション工法を基本とする。
- ・さく井数： 1か所
- ・掘削口径： $\phi 311\text{mm}$
- ・ケーシング口径： 150A
- ・掘削深度： 150m
- ・ケーシング： 150A (SGP) $\times 5.5\text{m} \times 24$ 本
- ・スクリーン： 150A $\times 5.0\text{m} \times 4$ 本（丸孔捲線）
設置位置 GL-100m以深
- ・揚水管： 25A (SGP) $\times 4\text{m} \times 35$ 本

(2) さく井施工

1) 仮設工

- ・施工位置周辺の整地（伐開、伐木、除根及び処理を含む。）を行う。
- ・削孔に伴う排泥土水の周囲の土地及び河川への流出防止対策を行う。

2) 掘削

- ・地中埋設物の有無の調査を行い、監督員との立ち合いのうえで芯出しを行い、さく井位置を決定する。
- ・掘削は、垂直に行う。
- ・掘削中の孔壁の崩壊を防ぐため、掘削孔中にベントナイト等の保孔材を注入し、絶えず泥水を循環または充満させ、崩壊を防止する。
なお、崩壊、出水、逸水が泥水のみでは防止できない場合は、ケーシングより大きな鋼管を仮設ケーシングとして挿入する。また、掘削中は孔曲りを起こさぬよう十分に留意し、ケーシングが円滑に挿入できるように孔を仕上げる。
- ・地表部の陥没等防止及び掘削の安全確保のために孔口保護管（コンダクターパイプ）を設置する。なお、その深度は地質状況により決定すること。
- ・掘削完了後、ベントナイト等の保孔材による目詰まりの影響を排除するため、孔壁の十分な洗浄を行う。
- ・掘削中の泥水、仕上げ及び揚水試験時の排水は、関係法令に従い適切な処理を行う。

3) 孔内検層

- ・掘削完了及び孔内洗浄後には、電気検層を行い、帯水層位置の確認を行う。電気検層は比抵抗2極法とし、ケーシング降下前に行う。
- ・測定方法等は連続測定とし、電極間隔については25、50、100cmを標準とする。
- ・掘削深度における地質の種類（スライム・色調・地層の硬さ・湧水・逸水）を確認し、掘削記録を作成する。

4) ケーシング

- ・ケーシング挿入の安全を確認する必要がある場合は、挿入実施前に傾斜測定又はガイド管（10m以上）の降下試験を行うこと。
- ・ケーシングに使用する管材は、JIS-G-3452(配管用炭素鋼鋼管)とする。
- ・接合方法は突合せ溶接接合とし、上管下部に開先を取った片開先とし、管相互の芯ずれを生じさせないように接合する。
- ・ケーシングにはセントライザーを組み込むほか、砂利充填完了まで吊り下げ状態を維持し、片寄りの防止を図る。
- ・ケーシングの底部は、井戸底蓋にて溶接し完全に閉塞する。また、ケーシング頂部は地盤面または仕上がり床面から 600mm のところで切断し、鋼板にて覆いをする。

5) 井戸底蓋

- ・ケーシング管底には、充填砂利などのケーシング内侵入を防ぐ目的で底蓋を必ず取り付け

6) 砂利充填

- ・揚砂・帯水層の崩壊を防止するため、スクリーンと孔壁との間に砂利充填をする。
- ・充填する砂利は、珪砂2号（3～3.5mm）を使用する。ただ、洗砂利の粒子径は、帯水層を構成する地層の粒子径の4～5倍を参考に選定する。

7) 遮水

- ・採水層以外の遮水は、セメンチング、粒状ベントナイト、メカニカルパッカーなどの中から確実性の高い方法を用いて行う。

8) 仕上げ作業

- ・仕上げ作業は、清水置換後、泥壁除去を目的として全てのスクリーン部においてベーリング及びスワビングの実施を基本とする。必要に応じて泥壁洗浄剤の使用とジェットイング洗浄を行う。

4 施工上の留意事項

(1) 掘削中の泥水管理の事項

- ・掘削孔の鉛直性
- ・泥水比重の上昇
- ・作泥と泥壁の管理
- ・ケーシング挿入前の孔内洗浄と泥水の粘性管理

(2) スクリーンと設置位置

- ・巻き線型のスクリーンの巻き線ピッチは、帯水層及び充填砂利の粒径に適したものを選定する。
- ・孔内検層結果から、極力微細砂層を避けてスクリーン設置位置を決定する。
- ・地層と帯水層の移り変わりでの両層の混じり具合を考慮して、最低 0.5m 帯水層内にスクリーンを収める。ただし、その位置は、G L-100m 以深とする。

(3) 砂利充填の方法

- ・砂利の充填は、ゆっくりと投入し、落下中に停滞してその後の充填に支障をきたさないよ

うに行う。

- ・ベアラ等にて、ゆっくりと排泥しながら充填する砂利を投入する。
- ・充填した砂利が所定深度に達したことを確認した後、ベアラにて排泥を実施し、充填した砂利を落ち着かせる。

(4) 洗浄仕上中の揚砂量の測定

- ・洗浄仕上げ中に揚砂が認められた場合は、洗浄揚水中の揚砂量を測定し、揚砂が減少するまで洗浄作業（スワビング・エアリフト等）を実施する。
- ・揚水量との関係を把握する。

(5) 揚砂量から判断される適正揚水

- ・帯水層の地質にて揚砂抑制が困難な場合は、段階揚水試験の Q-s 曲線図で求められる適正揚水量を基に揚砂量の測定結果も鑑み、総合的に判断して揚水量を決定する。

5 検層と各種試験

(1) 検層

- ・検層は、電気検層を基本とする。
- ・電気検層は、比抵抗検層で行い、測定は自動記録の検層装置またはスポット測定検層器を使用する。

(2) 揚水試験

揚水試験は、井戸の性能湧出能力と帯水層の特性水理定数を求める目的で行うもので、予備揚水試験の後、段階揚水試験・連続揚水試験・水位回復試験を行う。

試験における水位・水量・水温・電気伝導度などの測定時間は、次表のとおりとする。

揚水試験の終了後ポンプを引き揚げ、埋没測定を行う。埋没がある場合は浚渫を実施し完全に埋没物を除去する。

連続揚水試験及び水位回復試験の測定間隔

測定時間	測定間隔
0分から10分まで	1分
10分から30分まで	5分
30分から1時間まで	10分
1時間以降	30分

① 予備揚水試験

試験により、仕上げ作業終了後の井水を清水にするとともに、段階揚水試験での最大揚水量及びその時の運転水位を把握する。

② 段階揚水試験

予備揚水試験で求めた最大揚水量を5段階以上に揚水量を変化させて、段階水位降下法で試験を行う。各段階とも1時間以上測定する。

試験結果より、限界揚水量（転移揚水量）・適正揚水量（経済揚水量）・井戸損失係数・帯水層損失係数の算出と揚砂量（定量測定）等の測定などを行う。

③ 連続揚水試験

監督員との協議により、段階揚水試験で求めた限界揚水量以下で実施し、水理定数を求めると共に水位の安定性を測定する。原則6時間以上連続して行う。

④ 水位回復試験

連続揚水試験に引き続き揚水停止以後の水位の復元性と水理定数を求める。ポンプ停止後 2 時間測定する。

(3) 水質試験

次に基づき分析を実施する。また、水質の分析は、認定を受けた分析機関で行う。

- ・水質分析項目水質基準に関する省令 51 項目令和 2 年 3 月 25 日厚生労働省令 38 号
- ・水道法第 4 条の規定に基づき「水質基準に関する省令」で規定する消毒副生成物 11 項目を含む 51 項目

6 揚水設備

設計で見込んでいる水中ポンプ、手押しポンプ、制御盤等は、揚水試験結果を基に、協議のうえ仕様を変更する場合があります、その場合は設計変更の対象とする。

7 工事報告書

工事報告書は、工事完了後に次の物を提出する。

提出物	内 容
地質柱状図と解析結果	井戸構造図及び検層図を含む地質柱状図、検層図 ケーシング下端深度、ケーシング継ぎ手深度、スクリーンの上端・下端深度、充填砂利深度と砂利種、遮水深度と遮水材質
施工地点座標	世界測地系座標値
水質分析結果	
揚水試験測定記録及び解析結果	測定記録：自然水位・揚水水位・揚水量・水温・電気伝導度・揚砂量 解析結果：限界揚水量・適正揚水量・透水係数・貯留係数などの水理定数、水位の安定性長期予測
工事写真	
ケーシング材ミルシート	
スクリーン構造図	
その他図面	揚水設備図面・ポンプ設置状況図・ポンプ試験成績表・ポンプ選定計算書

8 検 査

各種検査は、次のとおり行う。

項 目	内 容
掘削深度検尺	ビット、レジャーサ、ドリルカラー、スタビライザ、ロッドを孔内に降下させて、着底を確認 地上残尺より掘進長を算出
掘削孔径検査	使用したビットの実測値を測定。
材料検査	ケーシング・スクリーン材料 長さ、内外径、肉厚、規格（鋼管表面に記載の記号・ミルシート）

	その他	孔 内に設置する材料全ての規格と数量
中間検査	揚水試験	揚水試験：自然水位、揚水量、動水位（中間・安定水位）、揚砂の有無について検査
	深度検尺	揚水試験確認後、仮設水中モータポンプを引き揚げ、沈殿物を浚渫後に完成深度の検査
	揚水設備	水中モータポンプの規格・仕様、揚水管本数、水中モータポンプ設置深度の確認
	試運転・調整	揚水量、動水位、揚砂量を計測、その他設置機器類の動作確認
完成検査		工事写真及び報告書

9 管理施設工

- ・井戸施設周囲に設置するフェンスは、既設フェンスの一部を再利用するため、撤去に当たっては丁寧に行うこと。

10 仮設工

- ・工事用車両等の出入口は、神奈川県発注の主要地方道横浜伊勢原（先行整備区間）道路改良工事（その2）の施工ヤードを使用する。
- ・施工にあたっては神奈川県工事受注者と十分に調整し、交通誘導員を配置し安全対策を図ること。

11 その他

- ・施工現場周囲は、常に整理整頓し、危険防止に努めること。
- ・工事中は、常に監督員と十分に連絡をとり、その指示に従うこと。
- ・さく井箇所芯出しおよび基準高の測定を行うこと。
- ・工事受注者は、個人情報を取り扱う事務を行う場合には、「個人情報の保護に関する法律」及び「高座清掃施設組合個人情報の保護に関する法律の施行に関する条例」を遵守すること。
- ・工事受注者は、設計図書及び本特記仕様書に定めのない疑義事項について、組合監督員との協議のうえ、工事を履行すること。

施工条件明示書

1、工事概要

発注者	高座清掃施設組合					
工事件名	本郷ふれあい公園井戸改修工事					
工事場所	海老名市	本郷	地内			
工事目的	<p>本郷ふれあい公園の既設井戸施設は、災害時における防災トイレへの供給、常時の植栽及び芝等の維持管理に利用している。公園の井戸施設は既設1箇所に加えて新設1箇所の計2箇所設置する計画から、地下水採取による地盤沈下を防止する揚水管口径の規定等を満たすことが必要である。このことから、既設井戸施設は、地下水採取許可基準を満たすよう改修し、地盤沈下を防止することを目的とする。</p>					
工事概要	作業土工 電気設備工	1.0式 1.0式	井戸設置工 管理施設整備工	1.0式 1.0式	既存井戸施設撤去工 仮設工	1.0式 1.0式
契約工期	令和6年 7月 23日 ~ 令和6年 11月 15日					
事業区分	<input type="checkbox"/> 補助金事業	<input type="checkbox"/> 国庫				
		<input type="checkbox"/> 県費				
設計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 組合単独事業					
	<input checked="" type="checkbox"/> 単独積算					
	<input type="checkbox"/> 合算積算					
					工事	
					工事	

2、参考設計書積算諸条件

主たる工種	さく井工事	
施工地域・施工場所区分	補正なし	
契約保証の方法	発注者が金銭的補償を必要とする	
一部施工パッケージ使用	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
使用歩掛及び単価等	<input checked="" type="checkbox"/> 土木工事標準積算基準書	適用年版： 令和 5年 7月
	<input type="checkbox"/> 環境省積算基準書諸経費率	適用年版： 令和 年 月
	<input type="checkbox"/> 公共建築工事共通費積算基準	適用年版： 令和 年 月
	<input checked="" type="checkbox"/> 土木工事資材等単価表	適用年版： 令和 6年 4月
	<input checked="" type="checkbox"/> 刊行物	適用年版： 令和 6年 4月
	<input type="checkbox"/> 特別調査	適用年版： 令和 年 月
	<input type="checkbox"/> 高座清掃施設組合見積単価等	適用年版： 令和 年 月
	<input checked="" type="checkbox"/> その他（製品等見積）	適用年版： 令和 6年 6月
	<input checked="" type="checkbox"/> さく井・改修工事標準歩掛資料	適用年版： 令和 4年 月
<p>安全費、現場管理費、一般管理費の諸経費率は、さく井・改修工事標準歩掛資料を用いている。一般管理費には、契約保証の割増しを加えている。</p>		

3、施工条件

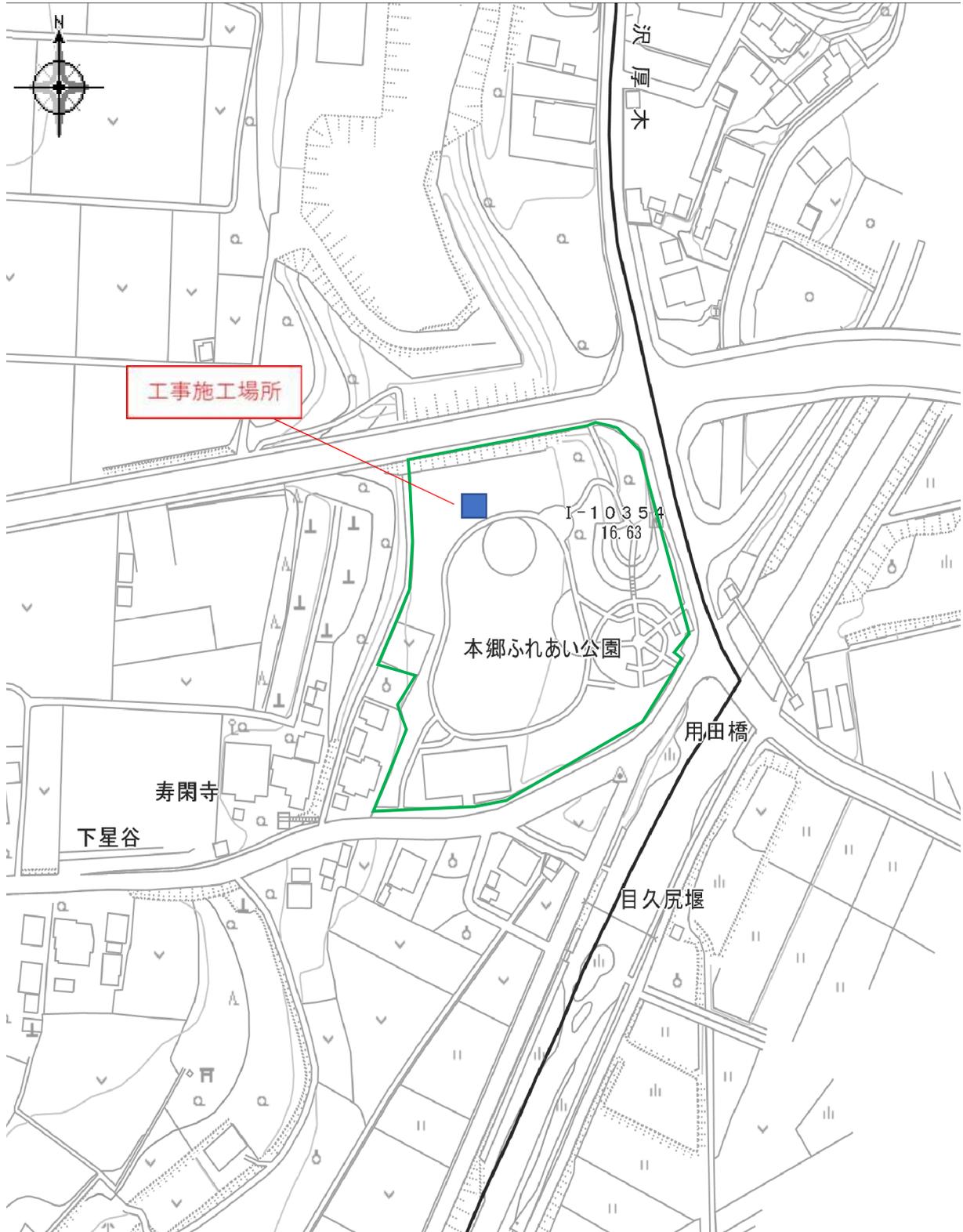
〔1〕 工程関係	1	他工事による当工事の着手、完了時期の制約について	<input type="checkbox"/> 無 (他工事件名等)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (工期、内容等) 井戸を新設する公園用地は、神奈川県発注の主要地方道横浜伊勢原(先行整備区間)道路改良工事(その2)が施工ヤードとして使用している。工事車両等の出入り等は施工ヤードを兼用して進めるため、相互の調整により工事進捗を図ること。
	2	当工事における施工時期の制約について	<input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 井戸を新設する公園用地は、神奈川県発注の主要地方道横浜伊勢原(先行整備区間)道路改良工事(その2)が施工ヤードとして使用している。工事車両等の出入り等は施工ヤードを兼用して進めるため、相互の調整により工事進捗を図ること。
	3	施工時間について	<input checked="" type="checkbox"/> 昼間施工 <input type="checkbox"/> 夜間施工 (一部含む)	(その他特記事項)
	4	官公庁ほか関係機関との調整、協議について	<input type="checkbox"/> 無 (関係機関名)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 神奈川県県央地域県政総合センター環境保全課 申請予定：井戸設置に伴う地下水採取許可申請 海老名市経済環境部環境政策課 申請予定：地下水取水届
	5	工事着手前に地上物件(家屋調査)、地下埋設物、埋蔵文化財の事前事後調査、又は、移設等の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (対象内容) <input type="checkbox"/> 有	
	6	設計工程上見込んでいる休日日数等作業不能日数について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (詳細内容、作業不能日数等) <input type="checkbox"/> 有	
〔2〕 用地関係	1	工事用地等の未処理部分について(用地買収状況について)	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (用地未取得部分等) <input type="checkbox"/> 有 (取得予定年月日等)	
	2	工事用仮設道路、資材置場等の用地の借用について	<input type="checkbox"/> 無 (使用場所、期間、借用条件、復旧方法等) <input checked="" type="checkbox"/> 有 井戸を新設する公園用地は、神奈川県発注の主要地方道横浜伊勢原(先行整備区間)道路改良工事(その2)が施工ヤードとして使用している。工事車両等の出入り等は施工ヤードを兼用して進めるため、相互の調整により工事進捗を図ること。	
	3	使用後の復旧条件	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (復旧内容等) <input type="checkbox"/> 有	

〔3〕 公害関係	1	公害防止のため、施工方法、建設機械、作業時間等の制限について	<input type="checkbox"/> 無 (建設機械と制限内容) 仕様書記載の諸法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (作業時間と制限内容) 騒音規制法・振動規制法
	2	水替期等の処理で特別な対策等の必要性について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (対策内容) <input type="checkbox"/> 有
〔4〕 安全対策関係	1	安全施設等の指定について(有害ガス及び酸素欠乏等の対策として換気設備の設置等の含む)	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (指定内容) <input type="checkbox"/> 有
	2	鉄道、ガス、電気等の施設と近接する工事の施工方法、作業時間の制限	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (対象内容) <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> 上水道 <input type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> その他 ()
	3	交通誘導員の配置について	<input type="checkbox"/> 無 (1) 交通誘導員の配置 常時1名、交通規制を行う場合は必要に応じた人数 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (2) 配置期間 作業期間中
〔5〕 工事用道路関係	1	一般道路を搬入路として使用する場合の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (搬入経路・使用期間等の制限) <input type="checkbox"/> 有 (搬入中・後の処置)
	2	仮設道路を設置する場合の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (仮設道路に関する安全施設) <input type="checkbox"/> 有 (工事後の措置、維持補修内容)
〔6〕 建設副産物関係	1	建設発生土の発生する場合について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (建設発生土の処分先) 名称： 住所： 業者： 電話：
	2	建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合について	<input type="checkbox"/> 無 (対象内容) <input type="checkbox"/> コンクリート塊 <input type="checkbox"/> アスファルト塊 <input type="checkbox"/> 建設発生木材 <input type="checkbox"/> 建設発生木材(伐木・除根材) <input checked="" type="checkbox"/> 建設汚泥 <input type="checkbox"/> 建設混合廃棄物 <input checked="" type="checkbox"/> 金属くず <input type="checkbox"/> その他(特別管理産業廃棄物等)
			※建設廃材指定登録工場に限る。工場側の指示を遵守すること

〔7〕 工事支障 物件	1	工事支障物件について (地下埋設物含む)	<input checked="" type="checkbox"/> 無	(対象内容)
			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 電柱 <input type="checkbox"/> 上水道 <input type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> ガス管 <input type="checkbox"/> 架空電線 <input type="checkbox"/> 標識・看板 <input type="checkbox"/> その他 ()
〔8〕 薬液注入 関係	1	薬液注入について	<input checked="" type="checkbox"/> 無	(対象内容)
			<input type="checkbox"/> 有	工法区分： 使用材料： 施工範囲、削孔数： 注入量： 施工管理基準等：
〔9〕 その他	1	工事現場発生品がある 場合について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	(品名、数量等)
	2	支給材料及び貸与品が ある場合について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	(品名、数量等)
	3	特殊・特定使用材料を 使用する場合及び資材 搬入等に制限がある場 合	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	(品名、数量、搬入制限等)
	4			
	5			
	6			

※明示されない施工条件、明示事項が不明確な場合は、契約書等の関連する条項に基づき甲・乙協議により決定すること。

本郷ふれあい公園井戸改修工事 位置図



本郷ふれあい公園井戸改修工事設計書

工 事 番 号		施 工 年 度	令和6年度
工 事 名 称	本郷ふれあい公園井戸改修工事		
工 事 場 所	海老名市 本郷 地内		
施 工 主	高座清掃施設組合	工事概要 作業土工 1.0 式 井戸設置工 1.0 式 既設井戸施設撤去工 1.0 式 電気設備工 1.0 式 管理施設整備工 1.0 式 仮設工 1.0 式	
設 計 区 分			
路 線 名			
工 事 期 間	令和 6年 7月 23日 ~ 令和 6年 11月 15日		
工 事 日 数	116 日		
部 課 名	施設課		
積 算 担 当	周辺整備係		
合 計 額			
工 事 価 格			
消費税相当額			

本 工 事 内 訳 書

工事区分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費	公園工事							場所区分:補正なし
		作業土工		式	1			A- 1号内訳書
		井戸設置工	掘削150m、ケーシング 150A、揚水管25A	式	1			A- 2号内訳書
		既設井戸施設撤去工		式	1			A- 3号内訳書
		電気設備工		式	1			A- 4号内訳書
		管理施設整備工		式	1			A- 5号内訳書
		仮設工		式	1			A- 6号内訳書
	直接工事費計							
	共通仮設費計							
		運搬費		式	1			A- 7号内訳書
		安全費 (率)		式	1			
	純工事費							
		現場管理費		式	1			

A- 7号		運搬費					1式当たり	内訳書
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
掘削機械類運搬	さく井機、ビット、ワイヤ、雑品							
クレーン付トラック運転費	8t積2.9t吊	日	4				C- 28号単価表	
クレーン付トラック運転費	6t積2.9t吊	日	2				C- 29号単価表	
クレーン付トラック運転費	4 t積2.9t吊	日	4				C- 14号単価表	
揚水試験用・遮水用機材運搬								
クレーン付トラック運転費	6t積2.9t吊	台	2				C- 30号単価表	
クレーン付トラック運転費	4 t積2.9t吊	台	2				C- 31号単価表	
ケーシング類運搬								
クレーン付トラック運転費	4 t積2.9t吊	台	1				C- 31号単価表	
泥土・充填砂利運搬								
ダンプトラック運転費		台	3				C- 32号単価表	
ダンプトラック運転費		台	2				C- 33号単価表	
計								

B- 7号

1式当たり

明細書

揚水機設置費

水中ポンプ、手押しポンプ、制御盤 等

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
さく井主任		人				
さく井技士		人				
さく井工		人				
電 工		人				
消耗品費		式	1			
揚水管	SGP25A×4.0m ねじ接続	本	35			
水中ポンプ	US3-325-1.9CR 川本ポンプ製	台	1			
手押しポンプ	HSD32形	基	1			
井戸蓋ユニット	SDT2-32	基	1			
バルブユニット	SU-32	基	1			
連成計	75-1.6M	基	1			
制御盤	ECAW3-1.9-01	基	1			
水中電極		基	1			

B- 8号

揚水試験費

1式当たり

明細書

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任技師		人				
技師(A)		人				
技師(B)		人				
さく井主任		人				
さく井技士		人				
さく井工		人				
水質試験費		式				
消耗品費		式	1			
軽油	パトロール給油	L	356.4			
計						

機械損料費

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
さく井機械	小型機	日				
ビット・ヘーラー	φ 300	日				
電動機・抵抗器	15kw	日				
発動発電機 ディーゼルエンジン駆動(超低騒音型) 排対型(1次)		供/日				
泥水ミキサー	200ℓ	日				
電気溶接機 ディーゼルエンジン駆動・直流アーク式・排対(2次)		供/日				
セメントポンプ	11KW	日				
水中サトポンプ	2.2KW	日				
孔内検層器	スポット式比抵抗	日				
水中モーターポンプ	150A×30KW	日				
三角堰揚水管	150A	日				
ケーシング用器具		日				
ベルトコンベアー		日				

C- 1号単価表(施工P-01)

床掘り

土質:土砂、施工方法:上記以外(小規模)

積算単位:m3

標準単価:

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			20.81			
K 1	バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型 排対型(2次基準)	供/日	20.81			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			71.39			
R 1	運転手(特殊)	人	38.71			
R 2	普通作業員	人	32.68			
R 3						
R 4						
R 5						
材料 Z			7.80			
Z 1	軽油/パトロール給油	L	7.80			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left(\frac{20.81}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{20.81}{20.81} \text{-----} \right. \\
 & + \left(\frac{38.71}{100} \times \text{-----} + \frac{32.68}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{71.39}{38.71+32.68} \text{-----} \\
 & + \left(\frac{7.80}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{7.80}{7.80} \text{-----} \\
 & \left. + \frac{100-20.81-71.39-7.80}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

C- 2号単価表(施工P-01)

積算単位:m3

標準単価:

埋戻し

施工方法:上記以外(小規模)

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械K			9.91			
K 1	バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型 排対型(2次基準)	供/日	9.30			
K 2	タンパ及びランマ ランマ	供/日	0.61			
K 3						
K 4						
K 5						
労務R			85.67			
R 1	普通作業員	人	48.83			
R 2	特殊作業員	人	19.54			
R 3	運転手(特殊)	人	17.30			
R 4						
R 5						
材料Z			4.42			
Z 1	軽油/パトロール給油	L	3.49			
Z 2	ガソリン/レキユーター, スタンド渡し	L	0.93			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left(\frac{9.30}{100} \times \frac{9.91}{9.30+0.61} + \frac{0.61}{100} \times \frac{9.91}{9.30+0.61} \right) \right. \\
 & + \left(\frac{48.83}{100} \times \frac{85.67}{48.83+19.54+17.30} + \frac{19.54}{100} \times \frac{85.67}{48.83+19.54+17.30} + \frac{17.30}{100} \times \frac{85.67}{48.83+19.54+17.30} \right) \\
 & + \left(\frac{3.49}{100} \times \frac{4.42}{3.49+0.93} + \frac{0.93}{100} \times \frac{4.42}{3.49+0.93} \right) \\
 & \left. + \frac{100-9.91-85.67-4.42}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

C- 4号 1式当たり 単価表

消耗材料費

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
掘削粘土		m3	7.8			
ベントナイト		kg	532.5			
その他調泥剤		式	1			
普通溶接棒		kg	4.65			
特殊溶接棒		kg	3.72			
酸素	ボンベ	m3	24.8			
アセチレン	ボンベ	kg	14.26			
雑費		式	1			
計						

C- 15号単価表(施工P-01)

積算単位:m3

標準単価:

埋戻し

施工方法:上記以外(小規模)

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械K			9.91			
K 1	バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型 排対型(2次基準)	供/日	9.30			
K 2	タンパ及びランマ ランマ	供/日	0.61			
K 3						
K 4						
K 5						
労務R			85.67			
R 1	普通作業員	人	48.83			
R 2	特殊作業員	人	19.54			
R 3	運転手(特殊)	人	17.30			
R 4						
R 5						
材料Z			4.42			
Z 1	軽油/ハトール給油	L	3.49			
Z 2	ガソリン/レキユーター, スタンド渡し	L	0.93			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left(\frac{9.30}{100} \times \frac{9.91}{9.30+0.61} + \frac{0.61}{100} \times \frac{9.91}{9.30+0.61} \right) \right. \\
 & + \left(\frac{48.83}{100} \times \frac{85.67}{48.83+19.54+17.30} + \frac{19.54}{100} \times \frac{85.67}{48.83+19.54+17.30} + \frac{17.30}{100} \times \frac{85.67}{48.83+19.54+17.30} \right) \\
 & + \left(\frac{3.49}{100} \times \frac{4.42}{3.49+0.93} + \frac{0.93}{100} \times \frac{4.42}{3.49+0.93} \right) \\
 & \left. + \frac{100-9.91-85.67-4.42}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

C- 19号

基礎ブロック撤去及び支柱撤去

100個当たり

単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
<基礎ブロック撤去>						
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
<支柱撤去>						
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			
計						
1個当たり						

C- 20号単価表(施工P-01)

基礎砕石

砕石の厚さ:7.5cmを超え12.5cm以下

積算単位: m²

標準単価:

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			5.88			
K 1	バックホウ(クローラ、標準)賃料/山積0.8m ³ (平積0.6m ³)(排出ガス対策型含む)	日	5.84			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			76.10			
R 1	普通作業員	人	36.47			
R 2	特殊作業員	人	15.92			
R 3	運転手(特殊)	人	14.24			
R 4	土木一般世話役	人	8.95			
R 5						
材料 Z			18.02			
Z 1	再生クラッシャーラン/RC-40	m ³	12.56			
Z 2	軽油/パトロール給油	L	5.43			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left(\frac{5.84}{100} \times \frac{5.88}{5.84} \right) \right. \\
 & + \left(\frac{36.47}{100} \times \frac{36.47}{36.47+15.92+14.24+8.95} + \frac{15.92}{100} \times \frac{15.92}{36.47+15.92+14.24+8.95} + \frac{14.24}{100} \times \frac{14.24}{36.47+15.92+14.24+8.95} + \frac{8.95}{100} \times \frac{8.95}{36.47+15.92+14.24+8.95} \right) \\
 & + \left(\frac{12.56}{100} \times \frac{12.56}{12.56+5.43} + \frac{5.43}{100} \times \frac{5.43}{12.56+5.43} \right) \times \frac{18.02}{12.56+5.43} \\
 & \left. + \frac{100-5.88-76.10-18.02}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

C- 20号単価表(施工P-02)
モルタル練

積算単位:m3

標準単価:

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械K						
K 1						
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務R			83.71			
R 1	普通作業員	人	56.03			
R 2	土木一般世話役	人	27.52			
R 3						
R 4						
R 5						
材料Z			16.29			
Z 1	セメント(高炉B)/25kg袋入	t	10.64			
Z 2	コンクリート用骨材 砂/洗い 細目	m3	5.65			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \right. \\
 & + \left(\frac{56.03}{100} \times \frac{56.03}{56.03+27.52} + \frac{27.52}{100} \times \frac{27.52}{56.03+27.52} \right) \times \frac{83.71}{56.03+27.52} \\
 & + \left(\frac{10.64}{100} \times \frac{10.64}{10.64+5.65} + \frac{5.65}{100} \times \frac{5.65}{10.64+5.65} \right) \times \frac{16.29}{10.64+5.65} \\
 & \left. + \frac{100-83.71-16.29}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

C- 24号 10箇所当たり 単価表

フェンス基礎ブロック設置(ブロック控柱なし)

200×200×450 : 柵高1200~1800mm

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ブロック工		人				
普通作業員		人				
普通作業員		人				
基礎碎石	碎石の厚さ:7.5cmを超え12.5cm以下	m ²	0.45			施工P-01
基礎ブロック	200×200×450	個	10			
モルタル練		m ³	0.03			施工P-02
諸雑費		式	1			
計						
1箇所当たり						

C- 24号単価表(施工P-01)

基礎砕石

砕石の厚さ:7.5cmを超え12.5cm以下

積算単位: m²

標準単価:

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			5.88			
K 1	バックホウ(クローラ、標準)賃料/山積0.8m ³ (平積0.6m ³)(排出ガス対策型含む)	日	5.84			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			76.10			
R 1	普通作業員	人	36.47			
R 2	特殊作業員	人	15.92			
R 3	運転手(特殊)	人	14.24			
R 4	土木一般世話役	人	8.95			
R 5						
材料 Z			18.02			
Z 1	再生クラッシャーラン/RC-40	m ³	12.56			
Z 2	軽油/パトロール給油	L	5.43			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left(\frac{5.84}{100} \times \frac{5.88}{5.84} \right) \times \frac{5.88}{5.84} \right. \\
 & + \left(\frac{36.47}{100} \times \frac{76.10}{36.47+15.92+14.24+8.95} + \frac{15.92}{100} \times \frac{76.10}{36.47+15.92+14.24+8.95} + \frac{14.24}{100} \times \frac{76.10}{36.47+15.92+14.24+8.95} + \frac{8.95}{100} \times \frac{76.10}{36.47+15.92+14.24+8.95} \right) \\
 & + \left(\frac{12.56}{100} \times \frac{18.02}{12.56+5.43} + \frac{5.43}{100} \times \frac{18.02}{12.56+5.43} \right) \times \frac{18.02}{12.56+5.43} \\
 & \left. + \frac{100-5.88-76.10-18.02}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

C- 24号単価表(施工P-02)
モルタル練

積算単位:m3

標準単価:

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械K						
K 1						
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務R			83.71			
R 1	普通作業員	人	56.03			
R 2	土木一般世話役	人	27.52			
R 3						
R 4						
R 5						
材料Z			16.29			
Z 1	セメント(高炉B)/25kg袋入	t	10.64			
Z 2	コンクリート用骨材 砂/洗い 細目	m3	5.65			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \right. \\
 & + \left(\frac{56.03}{100} \times \frac{56.03}{56.03+27.52} + \frac{27.52}{100} \times \frac{27.52}{56.03+27.52} \right) \times \frac{83.71}{56.03+27.52} \\
 & + \left(\frac{10.64}{100} \times \frac{10.64}{10.64+5.65} + \frac{5.65}{100} \times \frac{5.65}{10.64+5.65} \right) \times \frac{16.29}{10.64+5.65} \\
 & \left. + \frac{100-83.71-16.29}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

C- 26号 1式当たり 単価表

機械組立解体工
パーカッションA 定置型

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師(B)		人				
さく井主任		人				
さく井技士		人				
さく井工		人				
設備機械工		人				
とび工		人				
消耗品費		式	1			
ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 賃料	10 t 吊(排出ガス対策型含む)	日				
計						

F- 4号 1hr当たり 運転費

トラック運転費 (クレーン装置付)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
運転手(特殊)		人				
軽 油	パ°トル給油	L	5.3			
トラック クレーン装置付		hr				
計						

本郷ふれあい公園井戸改修工事

数量計算書

令和6年6月

高座清掃施設組合

■本郷ふれあい公園井戸改修工事 ー数量総括表ー

工事区分・工種 種別・細別	規格	単位	数量	備考
さく井工				
作業土工				
床堀	機械施工 BH0.28m3	m3	7.4	
埋戻し	機械施工 BH0.28m3	m3	6.7	
残土処理		m3	-	
井戸設備工				
掘削費	掘削150m、ケーシング150A	式	1.0	
孔内検層費		式	1.0	
ケーシング挿入費	ケーシング SGP-150A	式	1.0	
砂利充填・遮水費		式	1.0	
仕上げ費		式	1.0	
残泥水処理費		式	1.0	
揚水機設置費	ポンプ、揚水管25A、制御盤、量水器	式	1.0	
揚水試験費	水質試験費を含む	式	1.0	
報告書作成費		式	1.0	
機械損料費	さく井機、水中ポンプ、機器設備等	式	1.0	
既設井戸施設撤去工				
井戸施設撤去	ポンプ、揚水管25A、地上ユニット	式	1.0	
電気設備工				
電線管（移設）	FEP30	m	3.0	
埋設表示シート	W150 ダブル	m	3.0	
電線（移設）	EM-CE5.5□-4C	m	3.0	
管理施設設備工				
フェンス(撤去)移設	H=1.8m（既設）	m3	11.8	
フェンス設置	H=1.8m（移設L=11.8mを含む）	m3	20.5	
仮設工				
仮設費	準備工、機械組立解体、動力・用排水	式	1.0	
交通誘導員		人	50.0	
共通仮設費				
運搬費		式	1.0	
安全費		式	1.0	
スクラップ費				
鉄スクラップ H2		t	0.07	

土工数量集計表

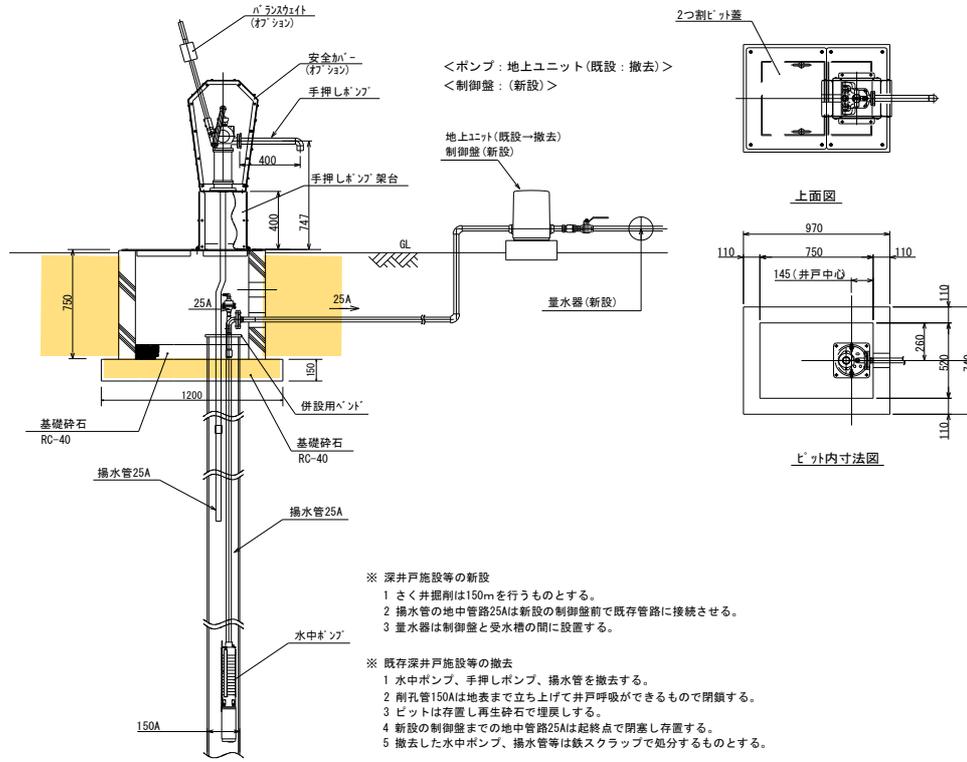
■ 構造物土工

C: 0.90

工種	単位	数量	床堀土量			埋戻土量			作業残土処理 (m3) 床堀-(埋戻/C)	備考
			BH 0.28	BH 0.45	BH 0.8	BH 0.28	BH 0.45	BH 0.8		
井戸設備工	式	1.0	3.60			2.90			0.378	
電気設備工	式	1.0	0.87			0.87			-0.097	
管理施設整備工	式	1.0	3.00			3.00			-0.333	
計			7.47	0.00	0.00	6.77	0.00	0.00	-0.052	
			7.4	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	

単位数量計算書

井戸(新設)

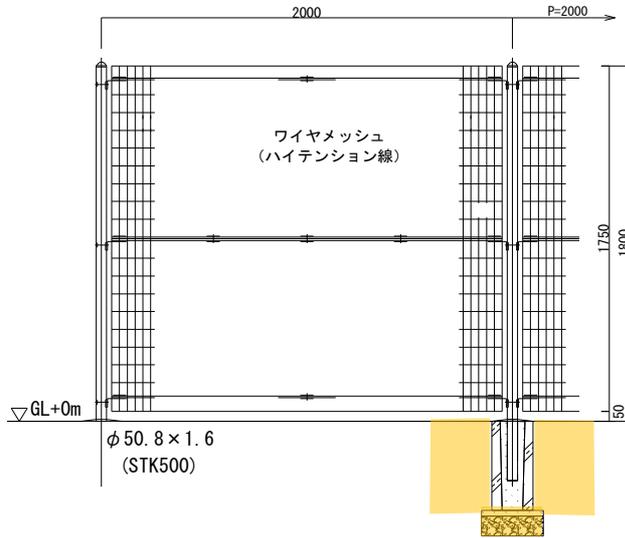


1基当り

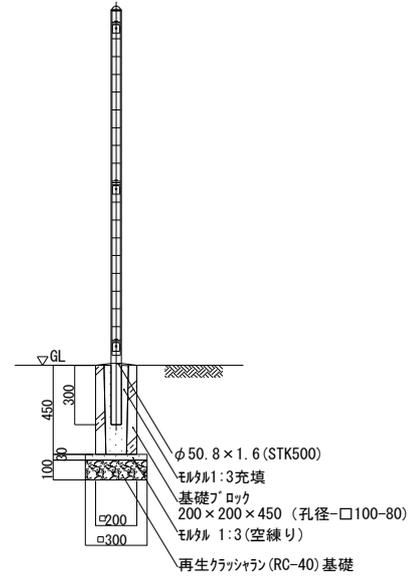
名称	規格	算式	単位	数量	
井戸さく井	さく井、ピット柵、水中ポンプ、手押しポンプ、制御盤、量水器、各種検査含む	1	式	1.000	1.0
床掘り		$(0.97+0.3*2)^2*0.75+1.2*0.94*0.15$	m ³	2.018	2.0
埋戻し		2-0.71	m ³	1.290	1.3
残土処分		$(0.97*0.74*0.75)+(1.2*0.94*0.15)$	m ³	0.708	0.71
ポンプピット					
ピット柵		1	基	1.000	1.0
砕石基礎 再生クラッシュ	(RC-40) t=150	$1.2 * 0.94$	m ²	1.128	1.1
敷砂利 再生クラッシュ	(RC-40) t=50	$0.75 * 0.52 * 0.05$	m ³	0.020	0.02

単位数量計算書

フェンス



立面図 S=1:20



断面図 S=1:20

10m当り

名称	規格	算式	単位	数量	数量
(撤去)移設					
床掘り	(撤去)移設	$((0.2+0.3*2)^2*0.45-0.2^2*0.45)*10/2$	m ³	1.350	1.35
埋戻し	(撤去)移設	$(0.2+0.3*2)^2*0.45*10/2$	m ³	1.440	1.44
残土処分	(撤去)移設	1.35-1.44	m ³	-0.090	-0.09
設置					
床掘り	設置	$(0.3^2*0.1+(0.2+0.3*2)^2*0.48)*10/2$	m ³	1.581	1.58
埋戻し	設置	1.58-0.15	m ³	1.430	1.43
残土処分	設置	$(0.3^2*(0.1+0.03)+0.2^2*0.45)*10/2$	m ³	0.149	0.15
再生クラッシュラン基礎	(RC-40) t=100	$0.3^2*10/2$	m ²	0.450	0.45
モルタル均し	空練1:3	$0.3^2*0.03*10/2$	m ³	0.014	0.014
モルタル充填	空練1:3	$(0.1^2+0.08^2)*1/2*0.45*10/2$	m ³	0.018	0.018
フェンス基礎ブロック	□200×450	10*1/2	個	5.000	5.00
フェンス本体	H=1800	10	m	10.000	10.0

掘削日数

$$N = 1 \text{日} \div \text{標準掘削率 (m/日)} \times \text{地層厚 (m)}$$

区間深度	地質	ケーシング 150A	地層厚 (m)	日数
0~50	粘性土	9.1	9.0	0.99
	砂質土	6.4	7.0	1.09
	砂礫	3.6	34.0	9.44
	玉石	1.8		
	軟岩	2.0		
51~100	粘性土	8.9	44.0	4.94
	砂質土	5.8		
	砂礫	3.3	6.0	1.82
	玉石	1.6		
	軟岩	1.8		
101~150	粘性土	8.4	20.0	2.38
	砂質土	5.5		
	砂礫	3.1	30.0	9.68
	玉石	1.5		
	軟岩	1.7		
計			150.0	30.35
	掘削日数(整数値)			31.00

掘削時の地層別残泥土処理量

$$V_d = \text{泥土 (m}^3/\text{m)} \times \text{地層厚 (m)}$$

項目	単位	ケーシング 150A	地層厚 (m)	泥土 (m ³)
A1	m ²	0.071		
れき質系	m ³ /m	0.213	70.0	14.91
砂層系	m ³ /m	0.241	7.0	1.69
粘土系	m ³ /m	0.263	73.0	19.20
軟岩系	m ³ /m	0.249	0.0	
計			150.0	35.80

ケーシング～遮水泥土処理量

$$V_c = A1 (\text{m}^2) \times (\text{砂利充填区間長} + \text{セメチング等区間長 (m)}) \times 1.2$$

項目	単位		砂利充填	セメチング	泥土
A1	m ²	0.071	140.0	10.0	12.78

仕上げ時の泥土処理量

$$V_p = A1 (\text{m}^2) \times \text{掘削深度 (m)} \times 1.5$$

項目	単位		掘削深度	泥土
A1	m ²	0.071	150.0	15.98

残泥土処理量

$$V = V_d + V_c + V_p = 64.55 \text{ m}^3$$

砂利充填日数

$$V : \text{充填量} = (A1 - A2) \times H : \text{充填層厚(m)} \times \text{安全率} : 1.2$$

項目	単位	ケーシング 150A	砂利充填		残土・粘土埋戻し	
			充填層厚	充填量	埋戻し厚	埋戻し量
掘さく孔断面積A1	m ²	0.071				
パイプ外径断面積A2	m ²	0.021				
A1 - A2	m ²	0.050				
m当り砂利充填量	m ³	0.060	140.0	8.40		
計			140.0	8.40	0.0	0.00

砂利充填所要時間：労務

$$\text{充填所要時間} = V : \text{充填量} \div Q : \text{1時間当たり充填量} 1.5 (\text{m}^3/\text{h})$$

$$= 8.40 \div 1.5 = 5.60 \text{ h} \rightarrow 6.0 \text{ h (小数点以下切り上げ)}$$

残土・粘土埋戻し所要時間：労務

$$\text{埋戻し所要時間} = V : \text{埋戻し} \div Q : \text{1時間当たり埋戻し量} 2.5 (\text{m}^3/\text{h})$$

$$= 0.00 \div 2.5 = 0.00 \text{ h} \rightarrow 0.0 \text{ h (小数点以下切り上げ)}$$

機械損料所要日数

$$\text{機械所要日数} = (\text{砂利充填所要時間} + \text{残土・粘土埋戻し所要時間}) \div 8.0 (\text{h})$$

$$= (5.60 + 0.00) \div 8.0 = 0.70 \text{ 日} \rightarrow 1.0 \text{ 日 (小数点以下切り上げ)}$$

セメチング遮水：セメントスラリー量

$$V_s : \text{スラリー量} = 1 \text{ m当り体積} \times H_s : \text{スラリー深度厚(m)} \times \text{安全率} : 1.2$$

$$\text{セメント量} = \text{セメントスラリー量} (\text{t}) \div 21.330 \times 25\text{kg/袋}$$

項目	単位	ケーシング 150A	セメチング		セメント (t)	VP30 (本)
			深度(m)	スラリー		
セメントスラリー量 F=1.2	m ³	0.060	10.0	0.60	0.703	3.0

機械損料日数表

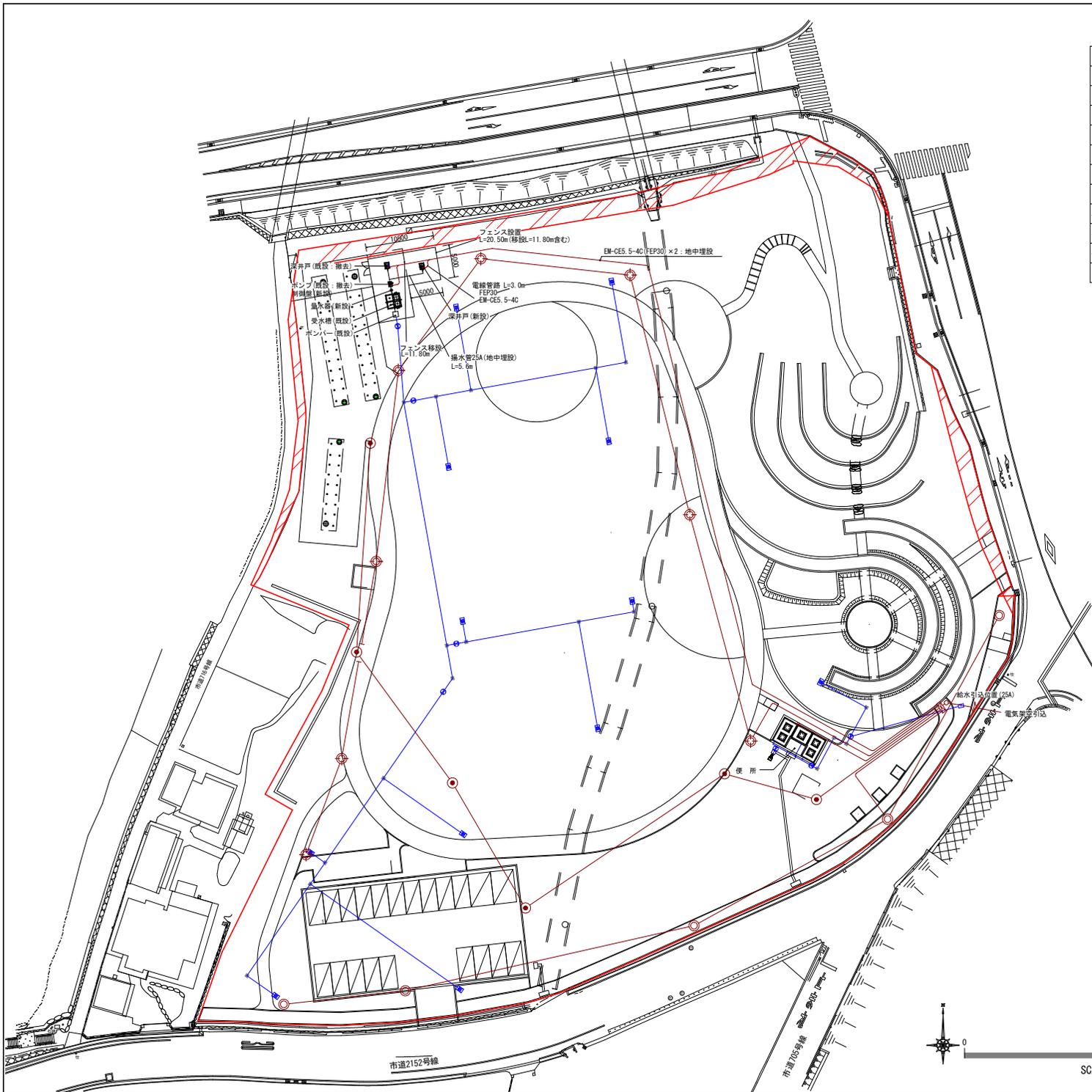
機 器	工 程	機械据付 解体撤去	掘削	孔内検層	ケーシング	砂利充填 遮 水	仕上げ	揚水試験	計	
									計算値	積算日数
さく井機	供用	6	31	1	2	2	5	10	57	57
	運転		31		2	2	5	7	47	
掘削用ビット	供用		31						31	31
掘削用ベアラ	供用		31	1	2				34	34
仕上げベアラ	供用						5		5	5
泥水ミキサ	供用	6	31	1	2	2	5	10	57	57
	運転		31						31	
電気溶接機	供用	6	31	1	2	2	5	10	57	57
	運転		31		2				33	
工用サンドポンプ類	供用	6	31	1	2	2	5	10	57	57
	運転		31		2	2	5		40	
発電機	供用	6	31	1	2	2	5	10	57	57
	運転		31		2	2	5	7	47	
揚水試験用ポンプ	供用							10	10	10
	運転							7	7	
セメチングポンプ	供用					1			1	1
	運転					1			1	
セメントミキサ	供用					1			1	1
	運転					1			1	
スラリー用タンク	供用					2			2	2
検層装置	供用			1					1	1
	運転			1					1	
ガス切断器具	供用	6	31	1	2	2	5	10	57	57
ケーシング器具	供用				2				2	2
泥水タンク	供用	6	31	1	2	2	5	10	57	57
分電盤	供用	6	31	1	2	2	5	10	57	57
工具類	供用	6	31	1	2	2	5	10	57	57
リース機器										
各種発電機	供用	6	31	1	2	2	5	10	57	57
ベルトコンベア	供用					1			1	1

運搬費

運搬品目	運搬重量 (t) 運搬量 (m ³)	単位	積載量別トラック台数								
			クレーン付 10 t	クレーン付 8 t	クレーン付 6 t	クレーン付 4 t	DT10 t	DT 8 t	DT 6 t	DT 4 t	
定置型さく井機 パーカッションA	28.0	日		2	2	2					
ビット・ワイヤ・雑品	20.0	台		2		2					
揚水試験用機材	8.0	台				2					
遮水用機材	12.0	台			2						
コンダクタパイプ	0.39	台				1					
ケーシング・スクリーンパイプ	2.97	台									
粘土他調泥材	8.52	台	(粘土等はダンプトラック 6 t以下を使用)							1	1
充填砂利	15.12	台							2	1	

運搬品目	単位重量 (kg/m)	掘削長 (m)	使用量 (t)
コンダクタパイプ400A(t)	77.6	5.0	0.39
ケーシングパイプ150A(t)	19.8	150.0	2.97

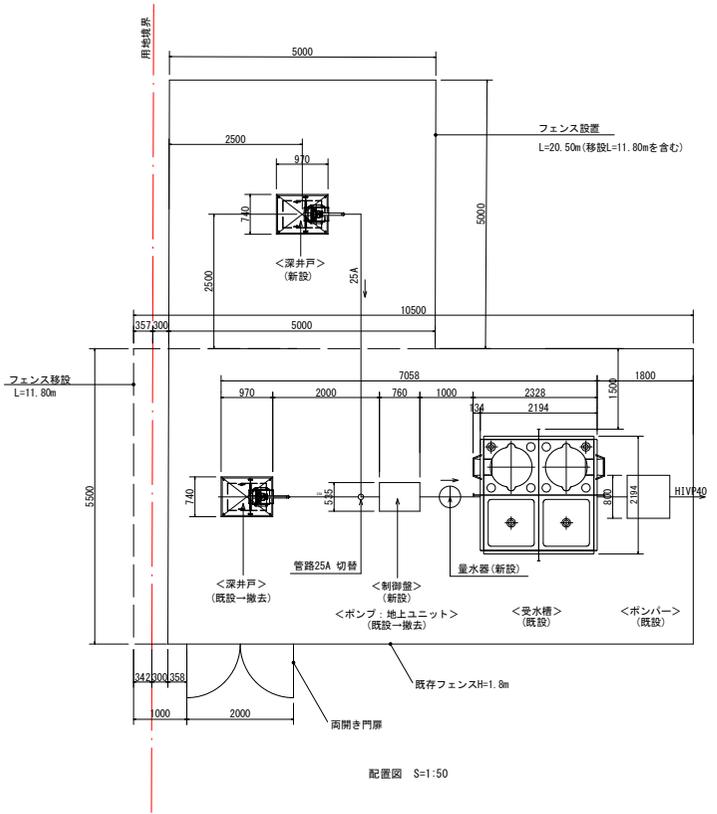
運搬品目	孔断面積 (m ²)	掘削長 (m)	係数1	係数2	使用量 (t, m ³)
粘土使用量(m ³)	0.071	150.0	5	0.15	7.99
ベントナイト使用量(t)	0.071	150.0	5	10.0	0.53
充填砂利使用量(t)	0.060	140.0	1.8		15.12



井戸設備工数量表

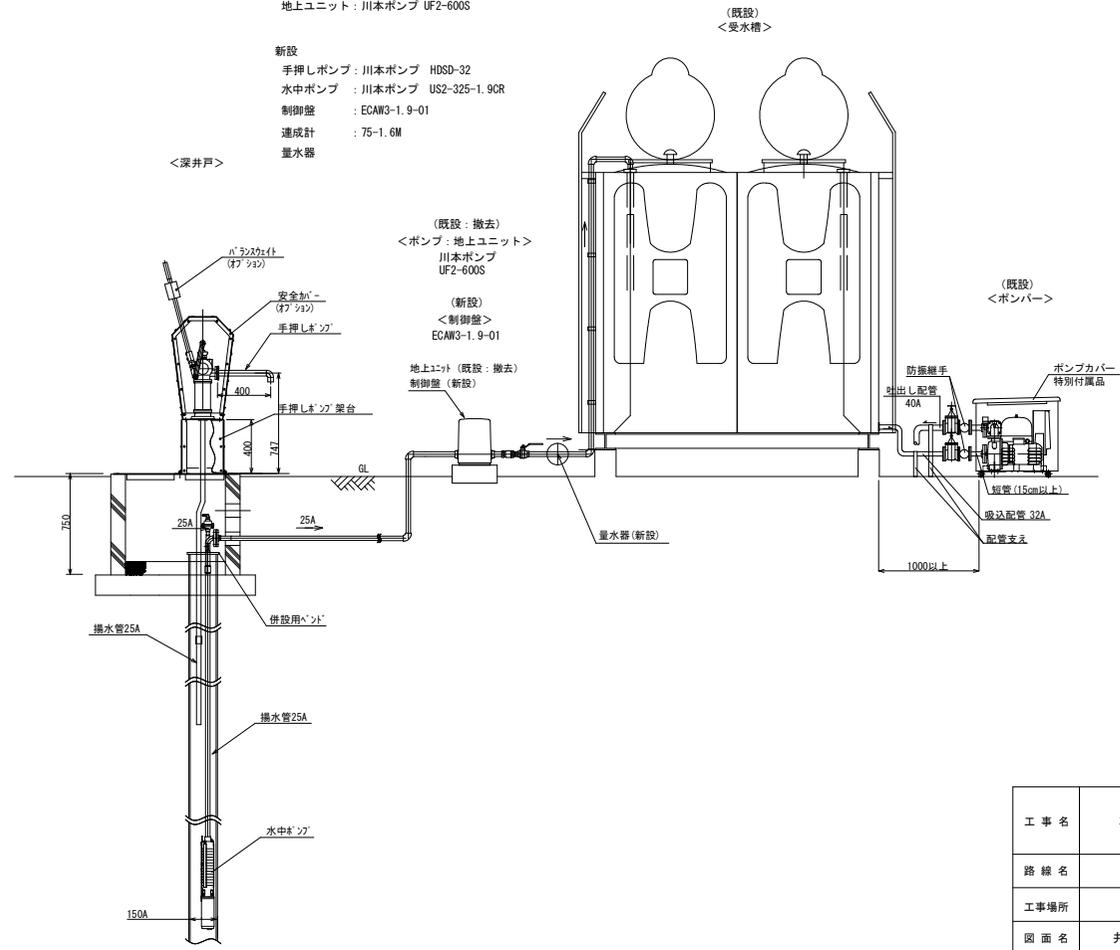
記号	名称	規格・寸法	数量	単位	備考
■	深井戸(新設)		1.0	式	
■	深井戸(既設)撤去		1.0	式	
□	制御盤(新設)		1.0	式	
□	ポンプ(既設)撤去		1.0	式	
●	量水器(新設)		1.0	式	
■	受水槽(既設)		—		
□	ポンパ(既設)		—		
—	埋水管(地中埋設)	25A	5.6	m	
—	フェンス移設(既設)	H=1.8m	11.8	m	
—	フェンス設置	H=1.8m	20.5	m	移設=11.8mを含む
—	電線管路設置	EM-CE5.5-4C FEP30 x 1	3.0	m	

工事名	本郷ふれあい公園井戸改修工事	
路線名		
工事場所	海老名市 本郷 地内	
図面名	井戸設備平面図	縮尺 S=1:300 (A1) S=1:600 (A3)
図面番号	全 4 葉の内第 1 号	
高座清掃施設組合		



既設撤去
 手押しポンプ：川本ポンプ HDS-25
 水中ポンプ：川本ポンプ UF2-600T
 地上ユニット：川本ポンプ UF2-600S

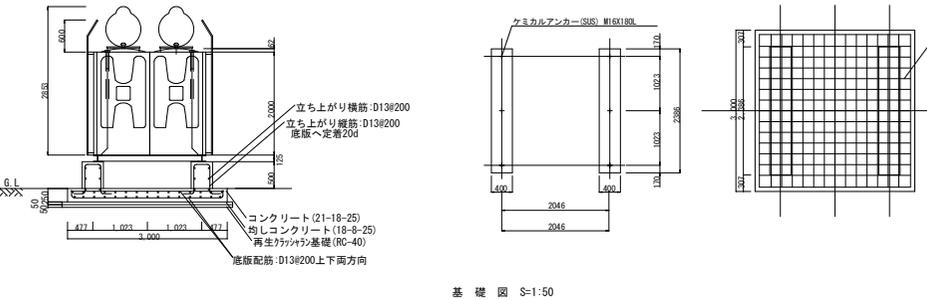
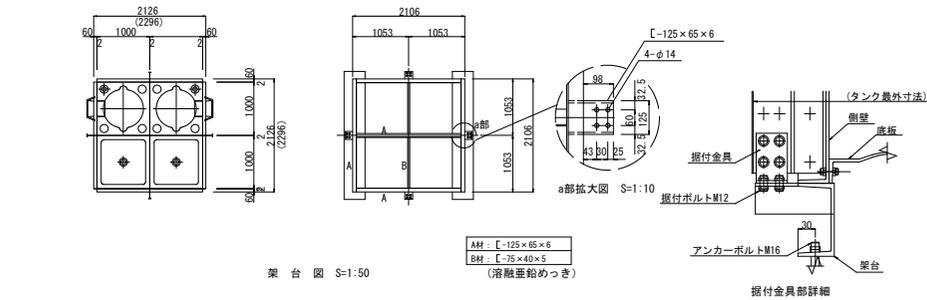
新設
 手押しポンプ：川本ポンプ HDS0-32
 水中ポンプ：川本ポンプ US2-325-1.9CR
 制御盤：ECAW3-1.9-01
 連成計：75-1.6M
 量水器



- ※ 既設深井戸施設等の撤去
- 1 水中ポンプ、手押しポンプ、排水管を撤去する。
 - 2 排水管150Aは地表まで立ち上げて井戸呼吸ができるもので閉鎖する。
 - 3 ビットは存置し再法研石で埋戻しする。
 - 4 新設の制御盤までの地中管径25Aは起終点で閉塞し存置する。
 - 5 撤去した水中ポンプ、排水管等は鉄スクラップで処分するものとする。
 - 6 既設フェンス撤去は移設で再利用するため丁寧にを行うものとする。
- ※ 深井戸施設等の新設
- 1 さく井掘削は150mを行うものとする。
 - 2 排水管の地中管径25Aは新設の制御盤前で既存管路に接続させる。
 - 3 量水器は制御盤と受水槽の間に設置する。
 - 4 フェンスは既設を再利用し不足分を追加して設置する。

井戸給水フロー図 S=1:20

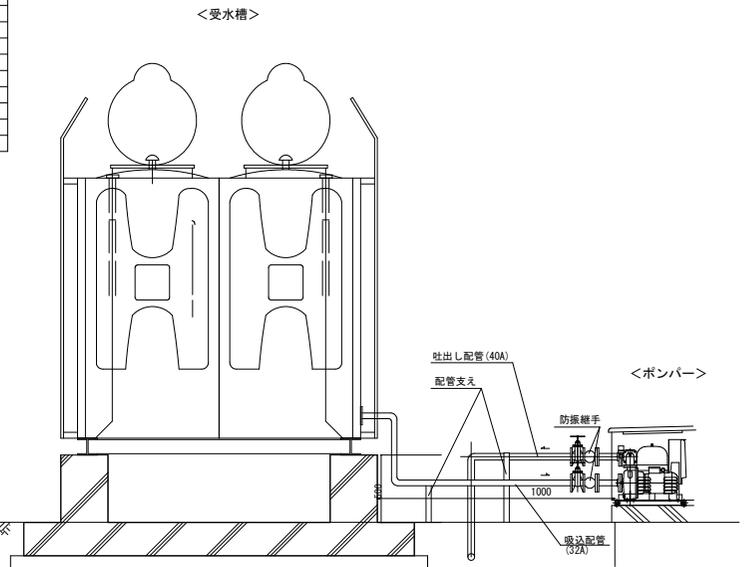
工事名	本郷ふれあい公園井戸改修工事		
路線名			
工事場所	海老名市 本郷 地内		
図面名	井戸設備構造図-1	縮尺	図示
図面番号	全 4 葉の内第 2 号		
高座清掃施設組合			



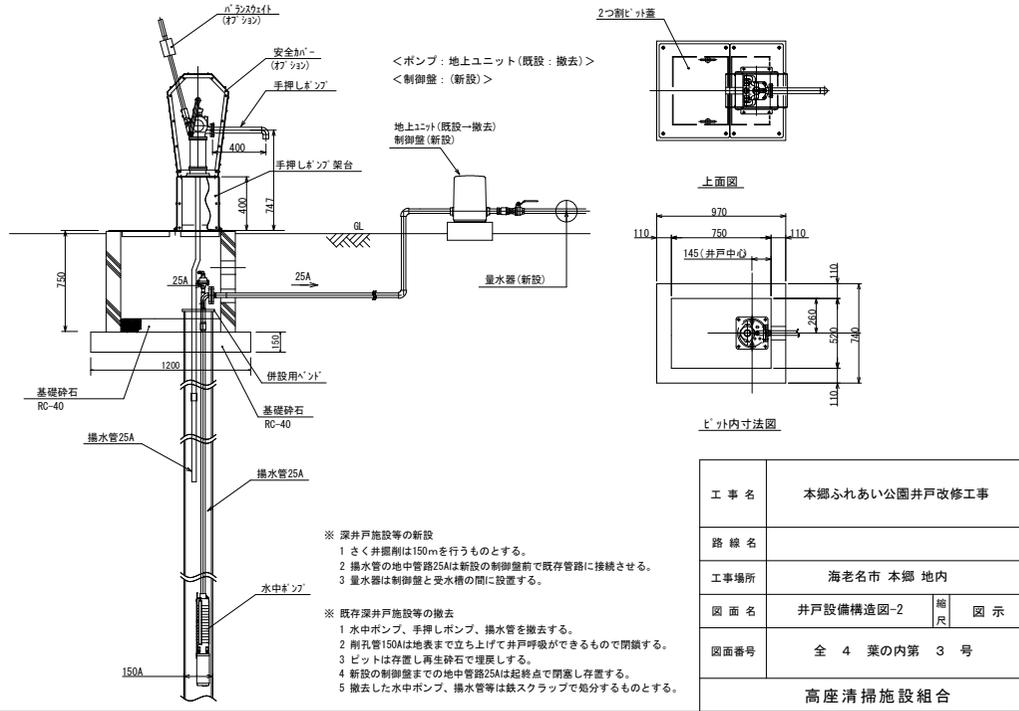
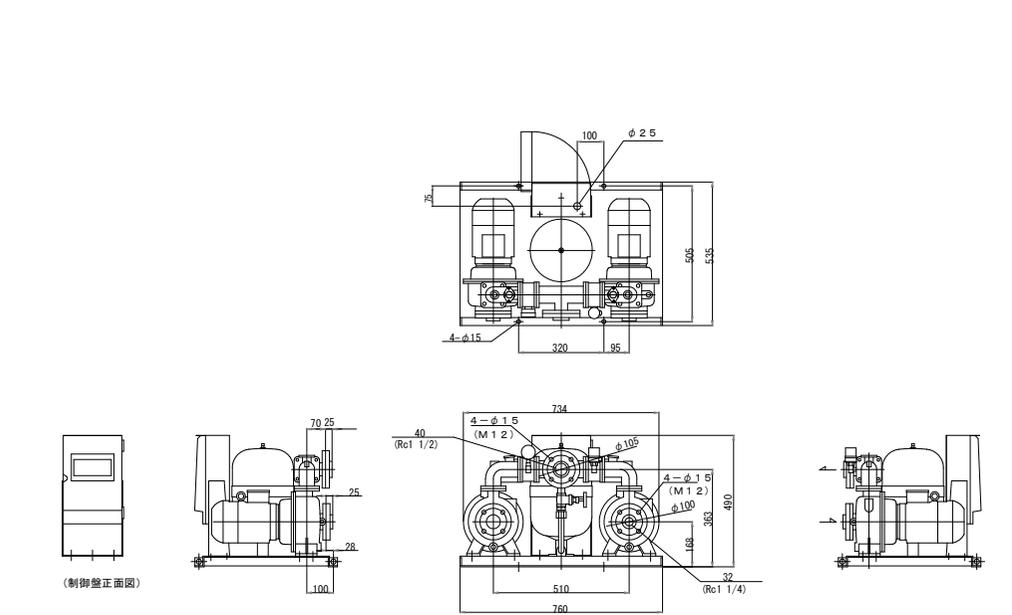
* 基礎のコンクリート強度はF_c21、スラブ強度はS18

No	名称	材質	数量	サイズ
12	仕切板	FRP	1	
11	外梯子	SS	2	巾385
10	内梯子	PVC	2	巾300
9	電機取付用床	ABS	2	PF2 カバー、防波管付
8	通気口	ABS	2	50A 防虫網付
7	排水口			
6	溢水口			
5	出水口			
4	入水口			
3	マンホール	FRP	2	φ600 取外し兼用型
2	マンホール	FRP	1	
1	槽本体	FRP	1	

注記
 タンク外観色は、アイボリーとする。(マンセル2.5Y9/2)
 パネル締結用ボルトはSUS-304品とする。
 気相部は樹脂ライニングボルト・ナット品とする。
 水槽質量は、575kg。
 ()内寸法はタンク最大寸法を示す。
 SUS・気相部防護ボルト仕様

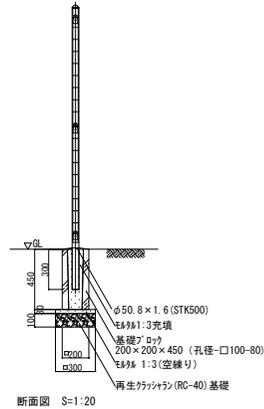
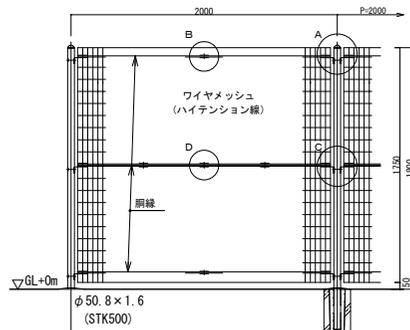
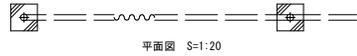


受水槽～ポンパー 断面図 S=1:20



- ※ 深井戸施設等の新設**
- 1 さく井掘削は150mを行うものとする。
 - 2 揚水管の地中管路25Aは新設の制御盤前で既存管路に接続させる。
 - 3 量水器は制御盤と受水槽の間に設置する。
- ※ 既存深井戸施設等の撤去**
- 1 水中ポンプ、手押しポンプ、揚水管を撤去する。
 - 2 剛孔管150Aは地表まで立ち上げて井戸呼吸ができるもので閉鎖する。
 - 3 ビットは存置し再生砕石で埋戻しする。
 - 4 新設の制御盤までの地中管路25Aは起終点で閉鎖し存置する。
 - 5 撤去した水中ポンプ、揚水管等は鉄スクラップで処分するものとする。

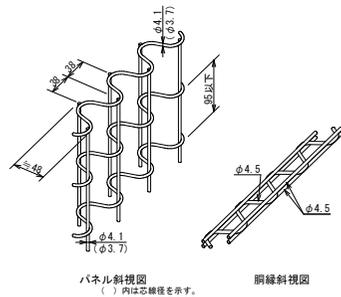
工事名	本郷ふれあい公園井戸改修工事		
路線名			
工事場所	海老名市 本郷 地内		
図面名	井戸設備構造図-2	縮尺	図示
図面番号	全 4 葉の内第 3 号		
高座清掃施設組合			



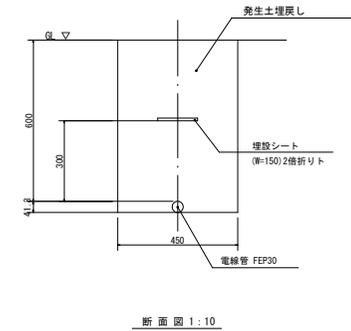
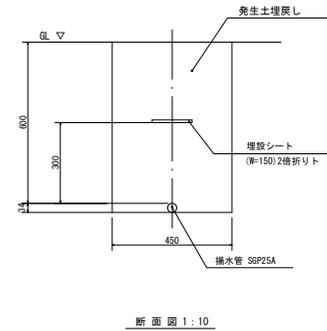
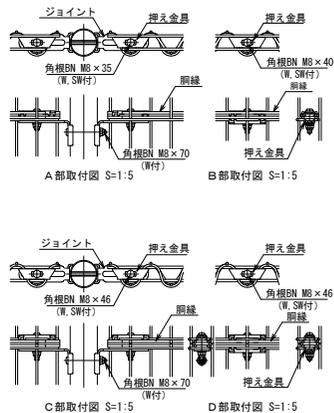
設計条件
 設計荷重・・・昭和7年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。
 基礎条件・・・長期許容地耐力 98 kN/m² (10 t/m²) を確認する。

備考

- 1. 外装について
 - ・主 柱] 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上
 パネル取付金具類] 高耐候性樹脂粉体塗装
 - ・ワイヤメッシュ] 亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
 - ・網 織]
 - ・ボルト、ナット] 溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理



既設フェンス撤去は移設で再利用するため丁寧に行うものとする。
 フェンスは既設を再利用し不足分を追加して設置する。



工事名	本郷ふれあい公園井戸改修工事		
路線名			
工事場所	海老名市 本郷 地内		
図面名	井戸設備構造図-3	縮尺	図示
図面番号	全 4 葉の内第 4 号		
高座清掃施設組合			